

平成 28 年度北海道・アルバータ州高校生交換留学促進事業

留学生現地レポート

I FOUND THE DIFFERENCE!

Hokkaido / Alberta student exchange program 2016-2017



平成 28 年 12 月発行
北海道教育庁学校教育局高校教育課

現地リポーター（留学参加者）

〈滞在期間 平成 28 年 11 月 6 日～平成 29 年 1 月 7 日〉

- 1 札幌国際情報高校 2 年生 → **Bishop Carroll in Calgary**
★ カナダの交通事情について
- 2 室蘭清水丘高校 2 年生 → **Harry Ainlay in Edmonton**
★ エドモントン市内のゴミ収集システム
- 3 登別明日中等教育学校 1 年生 → **Harry Ainlay in Edmonton**
★ カナダ人の魅力
- 4 函館中部高校 2 年生 → **Paul Kane in St.Albert**
★ カナダのお酒に関する法律について
- 5 稚内高校 2 年生 → **Lindsay Thurber Comprehensive in Red Deer**
★ Canada が大好き
- 6 常呂高校 2 年生 → **Harry Ainlay in Edmonton**
★ 日本とカナダの小さな違い
- 7 鹿追高校 2 年生 → **Harry Ainlay in Edmonton**
★ カナダの学校
- 8 標茶高校 2 年生 → **Harry Ainlay in Edmonton**
★ 紙パック飲料
★ カナダのスーパーマーケット



1 札幌国際情報高校 2 年生

★ カナダの交通事情について

カナダには「右折専用レーン」があり、右折車は信号に止まらずに進む事が出来ます。また専用レーンがない交差点でも、直進車が来ていなければ赤信号でも進んでいいそうです。

アルバータ州は石油や天然ガスなどのエネルギーをたくさん保有しているのので、日本よりもガソリンが安かったです。大体 1L89¢ (85 円くらい) でした。



2 室蘭清水丘高校 2 年生

★ エドモントン市内のゴミ収集システム

エドモントン市のゴミ収集システムは、日本、少なくとも私の住んでいる室蘭市とは大きく違います。私の市では、地区ごとに決まった収集場所に各家庭からでたゴミを自分で持っていき、トラックが回収に来ますが、エドモントン市内では毎週水曜日、各家庭が家の前にゴミをだしておき、回収車が 1 件 1 件回ってゴミを収集していきます。日本とは少し違って、住宅が隔絶的に建っていることはあまり無く、住宅街に密集していて、平地や繁華街とは完全に区別されているので、この方法が合理的なのかな、と思います。



3 登別明日中等教育学校 1 年生

★ カナダ人の魅力

カナダに来る前の私のカナダのイメージとしてカナダは移住しやすい国とされているので他文化を尊重できる国だと考えていました。しかし具体的にどのように尊重を形に表しているかは全く知りませんでした。

私が発見した文化の尊重の表れは大きく分けて2つの種類に分類されました。

1つ目は表記や商品の多様性です。

カナダの商品には必ず英語とフランス語の両方の言語が表記されています。カナダの公用語は英語とフランス語なのでこのようにしているそうです。また、カナダに移住している人の出身国は多種多様であり様々な文化の違いがあり食べ物や習慣にやらないといけないことや、やってはいけないことがあります。カナダはそれらほとんどに対応



して、例えばピザの店だとすると、ベジタリアンの方のために野菜のみを使用したピザを販売していたりと同じ時に文化の違いに妨げられずに一緒に楽しむことができるさりげない気遣いをカナダはしてくれていることがわかりました。

2つ目は人間関係です。

カナダの人は人種が違えども壁を作らずスムーズに話すことが本能的にできているように見えました。これは私の考えですが、私たち日本人は人種が違っていると認識すると一歩引いてコミュニケーションをとりがちであるように思います。日本はカナダと違って幼い頃から周りにいる人が同じ人種なので環境の問題もあるのかなと思いました。私は初めこの人間関係に1番驚きました。また同時にカナダ人の気さくさや考え方に憧れを抱きました。今まで生活をしてきた中で海外の方とコミュニケーションをとる機会は何度かありましたが、その時の私は一歩引いて話してしまい今思えばとても勿体なかったなと思います。これからはカナダ人のかたを見習って私もすぐに打ち解け合えるようなコミュニケーションを取っていきたいと思いました。



4 函館中部高校2年生

★ カナダのお酒に関する法律について

ある日、家族でレストランに食事へと出掛けました。その際にホストファザーがお酒を飲んでいたところを見かけました。車で来ていたので帰りはホストマザーが運転してくれるのかなと思っていたら飲酒をしていたホストファザーが運転をしていたのです。

驚いた私はホストマザーにそのことについて聞いてみました。すると、少しのお酒なら大丈夫だという答えが返ってきました。詳しく調べてみると、日本とは取り締まりが異なり、免許証が Class 5 Full (日本で言う普通免許だそうです) の人は微量の飲酒を認められているそうです。また、アルバータ州では 18 歳以上からの飲酒も認められています。

このように、お酒に関する規制が緩くも見えますが、実は日本よりも厳しい部分もあります。屋外の飲酒は禁止されています。お花見やお祭りの文化のある日本人の大人にとってはカルチャーショックを受ける部分かもしれません。お酒を購入できる場所についても、コンビニエンスストアやスーパーでは買うことができないそうです(一部の州除く)。実際に、コンビニエンスストアに行った際もお酒らしいものを見かけませんでした。また、Class 5 Full ではない人が飲酒運転をし捕まった場合は、罰金ではなく留置所へと送られるそうです。

一見、私たちには関係のないように思える内容ですが、きっとまた大人になってここに帰って来ると思うので、その際にこの知識が役立つようになればいいなと思います。

法律に関する写真が無かったのでカナダで見かけたパトカーを添付しておきます。



5 稚内高校2年生

★ Canada が大好き

カナダには色々なところにカナダの象徴であるモミジのマークやカナダの国旗がありました★

例えば、ガソリンスタンドやスーパー、マクドナルドにもありました。

私はどこにいてもカナダを身近に感じることができました。

日本のマクドナルドに日の丸のマークはありません。ぜひ付けて欲しいですね！



また、私の通った学校では月曜日と金曜

日の朝の校内放送で国歌が流れました。私は国歌を聞いているとき、自分もカナダの一員だと思えました。とても嬉しかったです。

私が1番カナダ愛を感じたのはたくさんの方がカナダの服を着ていたことです。私も欲しくなって買ってしまいました！日本にある日本らしい服はお土産用の物が多い気がします。それもいいですが、日本人はシャイな方が多いので、もっと気軽に着れるような物をつくれれば日本でもカナダのようにたくさんの方が着るのではないかなと思います！

私はカナダが羨ましいです。カナダの人たちはカナダが大好きです。カナダを愛し、誇りに思っています！私もカナダが大好きです！

日本人は日本を愛していないというわけではないですが、カナダに比べるとまだまだ足りません！

日本もカナダのようにもっと自国を身近に感じられるようになると嬉しいです。それから、もっと自国を愛し、誇りに思う人が増えると、より嬉しいです！



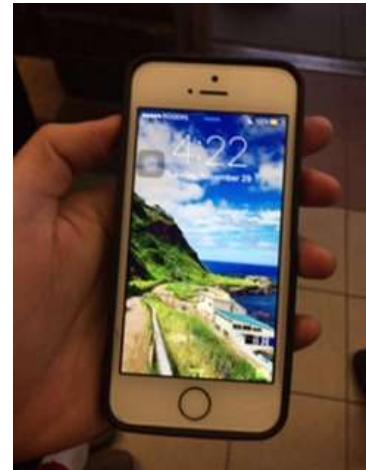
6 常呂高校2年生

★ 日本とカナダの小さな違い

カナダの人はみんな優しく、フレンドリーで本当に毎日楽しい生活を送っています!他のみんなが大きな違いについて書いていると思うので私はあえて、小さな違いについて書きます。

1. 時刻表示

日本人はスマートフォンなどの時刻表示を 13:00 などの 24 時間表示にしている人がほとんどだと思います!!ですが、カナダでは同じ 13:00 でも 1:00 (12 時間表示) と表示設定している人がほとんどです!!なぜ? とホストシスターに聞くと、「24 時間表示(日本)だと数えなきゃいけないから、大変だ」言っていました(笑)最初は気にならなかったこの違い、最近はこの設定をしてる人を見るのが私の楽しみです!笑



2. トイレの隙間

カナダのトイレはだいたいどこのトイレも隙間だらけです。例えばこの写真のとおり、下が約 20cm 空いていたりドアとドアの間も約 7mm 空いていて、隙間だらけです。なぜこのつくりにしたのか疑問に思いました。



3. 野生動物

日本の街の中でよく見る動物はだいたい猫やカラスだと思います。ですが、カナダはうさぎやリスをよく見かけます。なかなか、うさぎを見る機会が日本ではないので、見つけた時は本当に嬉しいです!

7 鹿追高校2年生

★ カナダの学校

カナダの学校と日本の学校にはたくさんの違いがあります。まず最初に、カナダの学校は本当に自由だと感じました。自分の取りたい授業を選択することができ、一日にあげておきたい時間があればスペアを作ることができます。スペアの時間には自分の勉強をしたり、ご飯を食べたり、友達としゃべったりと、自分の好きなことができます。

授業にもたくさんの違いがあり、本格的なメカニクの授業から美容系のコスメティックの授業までありました。語学の授業も豊富で、日本語、ドイツ語、フランス語、英語などがありました。また、理科系の日本にもあるような授業でも専門性が高く大学のような勉強をしているところもありました。

日本では放課後に部活をしている人が多いと思いますが、カナダではクラブ活動をしている人の方が少なく、放課後は友達とカフェに行ったりショッピングに行く人も多かったです。



8 標茶高校2年生

★ 紙パック飲料

カナダの紙パック飲料にも日本の物と同様、裏にストローがついていますが形態が異なります。

日本は伸縮タイプのため、取り出す際にストローを引っ張り伸ばさなければなりません。カナダの紙パック飲料はストローが曲がった状態でついているため、その必要がありません。

個人差はありますが、わたしにとってはとても使いづらいものでした...



★ カナダのスーパーマーケット

日本のスーパーでは会計の際、商品を入れた買い物カゴをレジ前に置きますが、カナダの多くのスーパーマーケットでは、商品を客のわたしたちが一つ一つ取り出し、レジ前にあるベルトコンベアーに並べなければなりません。

これには2つの理由があり、1つはカナダの人たちは買い物カゴを使わず、ショッピングカートに直接商品を入れていくため。

もう1つは日本のスーパーのように袋詰めするスペースがなく、大型のスーパーでもレジの店員が袋詰めしてくれるからです。

そして日本のレジ店員は「108円が1点～」などと、商品を1点ずつ読み上げますがそのようなこともしていませんでした。

